



あなたの笑顔が くれたもの

～周りから見えにくい障害・生きづらさ～

企画意図

「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまふことがあります。

主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト（人工肛門保有者）の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。

外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学んでいくことができます。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。



■上映時間37分 [C#2560]

■DVD本体価格 70,000円 (税込 77,000円)

「解説書」「ワークシート」あり

字幕・副音声版付き

あらすじ

美容メーカーでチームリーダーを務める麻友子は、久しぶりに会う幼馴染の紗希から結婚の報告とともに発達障害であることを告白される。麻友子は「発達障害」という言葉に対する思い込みから「そんなふうに見えない」「実は天才だったりして!」と励ますが、紗希は困惑した表情で言葉を失くす。

麻友子と同じチームで働く後輩の桃田は仕事が早く、いつも定時になるとすぐに帰っている。社内コンペに向けて親睦会を企画するも、桃田だけは「業務でないなら」と参加には消極的で、他の社員から「ノリが悪い」と非難される。

ある日、麻友子は公園の多目的トイレでポーチを拾ったことからオストメイトである女子高生の美織と出会う。周りにはオストメイトであることを隠さず伝えているという美織に対し「強いね」と口にする麻友子だが、「そう見えるだけかもよ?」と複雑な表情を浮かべる美織。

それからしばらくして、介護用おむつを持って歩いていた桃田と偶然鉢合わせた麻友子は、桃田が認知症の祖母の介護をしていることを知る。そして、自身も小学生のころ桃田と同じような境遇だったことを思い出す。

麻友子から当時の話を聞いた美織は「ヤングケアラーだったんだね」と一言。麻友子は初めてそういう言葉があることを知る。美織との会話を通じて、紗希や桃田に対してきちんと向き合えていなかったことに気づいた麻友子は2人とあらためて話すことを決意する。



制作プロダクション：合同会社 KAIKOH

企画・製作：東映株式会社
コンテンツ事業部門 教育映像部

予告編配信中!

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

2022年作品

- 本DVDは、ご購入いただいた官公庁（都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等）や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。
- 本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
 - ・テレビでの放映
 - ・ビデオオンデマンド等による配信
- 著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは、著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。
- DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。